

新年度予算・施策で論戦・積極的提案

傍聴にお越しく下さい

代表質問

3月2日(金) 午後1時頃から



寺尾 昭 議員

市民生活向上と平和を守る市政の役割を質す 市の主要施策全般について論戦

わが党は、市が進める施策について、市民の願いに沿っているものには積極的に賛成・推進してきました。市民の願いに反し、不利益を押し付けるものには、きっぱりと反対することを明確にしつつ、市長が市民の目線に立ち、生命とくらしを守るための市政を進めること、貧困と格差拡大のもと、市民生活を守り向上させるための市政の役割を質します。平和が脅かされている今、憲法9条改憲と核兵器禁止条約について見解を求めます。人口70万人維持を目標とした市3次総合計画の妥当性と実現性をはじめ、主要施策について、市民の立場から質問します。

- ・日本国憲法と地方自治に基づく市政を
- ・市人口70万人維持方針の妥当性と実現性について
- ・市の財政の現状認識と今後の見通しについて
- ・市民の生活実態と市政の役割について
- ・国民健康保険の市民負担軽減について
- ・バス路線休廃止と市民生活について
- ・リニア中央新幹線に対する今後の市の対応について
ほか市の主要施策について質します。

日本共産党 静岡市議会議員団ニュース
2018-No.2

電話：054-254-2111 (内線4541)
FAX：054-272-4695
メール：yksf5@jcpss.jp

※開始時間は目安ですので
お早めにおいでください

総括質問 3月6日(火)



杉本 まもる 議員

午前10時から

マイナンバー制度について

マイナンバー制度は情報漏えい、なりすまし被害の懸念をよそに、2015年10月からスタートしました。政府は制度の目的として、①国民の利便性の向上②行政の効率化③公平・公正な社会の実現の3点を掲げています。まる2年が経過した今、現状はどうなっているか質します。

再生可能エネルギーの普及について

地球温暖化対策と同時に、原発依存から安心・安全な再生可能エネルギーへの転換は国民的要求となっています。さらに、エネルギー自給率を高め、内需循環型経済をつくる産業として大きな役割を担っています。再生可能エネルギー普及・促進への静岡市の姿勢と取り組み状況を質します。



鈴木 せつ子 議員

午前10時30分から

子どもの貧困対策について

子どもの7人に1人が貧困と言われています。非正規雇用の拡大、一人親世帯の広がりなど格差と貧困が進むもと、子どもの貧困の状況を正面から捉え、原因に目を向け、子どもの貧困を減らすために、なすべき対応策を質します。

市民文化会館の再整備について

演劇・音楽鑑賞など市民に愛されているホールの存続と規模について、再整備の方向を確認します。



望月 賢一郎 議員

午前11時30分頃から

清水LNG火力発電所、環境影響評価法について

去る2月21日市議会本会議にて「火力発電所建設中止を求める決議」の請願が否決されました。否決の理由は事業者が提出を予定している環境影響評価・準備書を見てから判断すればよい、というものです。しかしこの環境影響評価法は手続き法であり、準備書が出てからでは、計画を止めることはできなくなります。この点について市当局の見解を求めます。

学校給食について

清水区の小中学校の学校給食について今後の方針を質します。



内田 りゅうすけ 議員

午後2時頃から

清水庁舎の移転計画について

2月13日から1か月間パブリックコメントが実施されています。市長は「市民の意見は聴くが方針の変更はしない」という態度です。津波浸水区域になぜ庁舎建設を進めるのか、市民の意見を充分反映させた計画を作るよう市の姿勢を質します。

三保半島の道路整備について

清水港三保線(三保街道)の無電柱化・道路整備促進について質問します。